



お子様の成長に合わせて 5 つのスタイルに変化

Free キッズスケーター

取扱説明書

この説明書は永くご使用いただくために、読んだ後は大切に保管してください

この度は「Free キッズスケーター」をお買上いただき、誠にありがとうございます。

「Free キッズスケーター」は三輪車・スケーターとお子様の成長に合わせて、5 つのスタイルに変化させてご使用いただけるお子様の遊具です。安全性・軽便性に抜群の性能を備え、皆様方に必ずお喜びいただけるものと確信しています。

当社はお子様の健やかな成長を願って、きめ細かな心くばりによる設計、製品作りに取り組んでいます。お子様のお健やかな成長をお祈りするとともに、当製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

1. 安全にご使用していただくためのご注意

重大な障害・事故につながる恐れがありますので、必ず下記の注意事項をお守りください。

対象年齢：2 歳～6 歳頃まで 体重：20kg まで



警告

守らなければ重大事故につながる恐れがあります。

1. お子様一人でご利用になる場合は、必ず保護者の方が使用上の注意を指導し、保護者の管理下でご利用ください。
2. 三輪車として使用する場合、お子様の足が地面に確実につくことを確認してからご利用ください。
3. 三輪車として使用する場合、サドルの上に立ち上がらないようご注意ください。
4. スケーターとして使用する場合、スピードが出てしまうことがあります。転倒・衝突などに十分注意してください。
5. 坂道や斜面や段差のある場所、車両交通の多い場所では使用しないでください。
6. 使用する前に必ず周りの安全確認をしてください。
7. ご使用になる場合は、必ずヘルメットを着用させてください。
8. お子様を裸足で乗せないでください。
9. 車輪の周りに手を入れたりしないようご注意ください。
10. 二人乗りなど危険な乗り方はさせないでください。
11. 組み立て等は必ず保護者の方が行い、手や指を挟んだりしないよう十分にご注意ください。
12. ご使用の前に必ず各部に緩み、破損等がないことを確認してください。もし緩み・破損等がある場合はそのまま使用せず、当社にご相談ください。
13. 炎天下に長時間放置しないでください。本体が熱くなりやけどをする危険性があります。



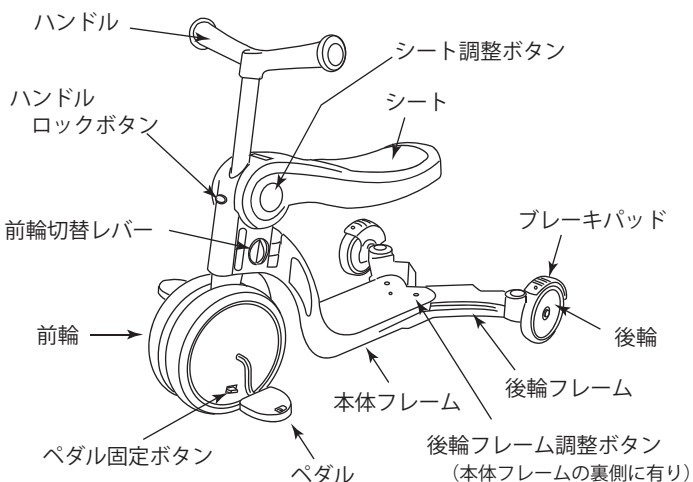
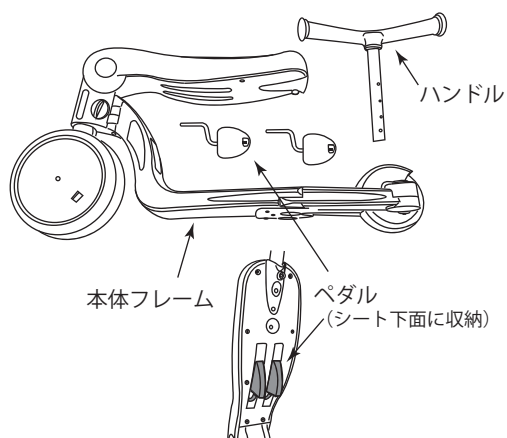
注意

守らなければ商品本体等が損傷する恐れがあります。

1. ご使用になる前には、必ず各部に緩みや損傷がないかを点検してください。緩んでいる箇所や破損している箇所がある場合は、使用しないでください。
2. 雨ざらしの場所や直射日光の当たる場所では保管しないでください。
3. 火気のある場所や高温の場所に近づけないでください。
4. 長時間の使用でネジ等が緩む場合がありますので、使用後は点検・お手入れをお願いします。
5. 砂場や水たまりでは使用しないでください。車輪の回転が悪くなる場合があります。
6. サビ等の発生を防ぐために、水に濡れた時は必ず水分を拭き取ってください。
7. ハンドルを持って振り回したりしないでください。
8. 本品を放り投げたりしないでください。

2. 各部の名称

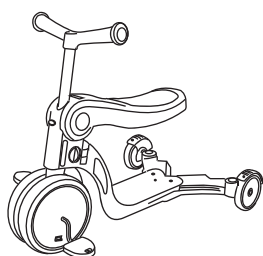
部品明細



3. 組み替え例

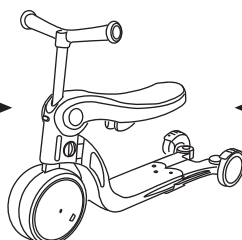
簡単に組み替えができます。

組み替え方法は「4. 各部の変形・調整方法」を参考にしてください



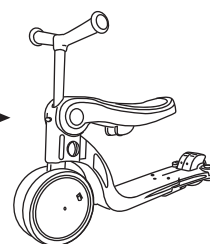
三輪車

後輪フレーム位置 3
後輪 3
前輪切替レバー ○印3つ
ペダルあり



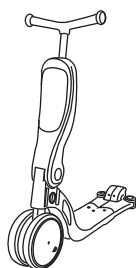
足けり三輪車Ⅰ

三輪車のペダルを外し、後輪の幅を狭く
後輪フレーム位置 1
後輪 2
前輪切替レバー ○印3つ
ペダルなし



足けり三輪車Ⅱ

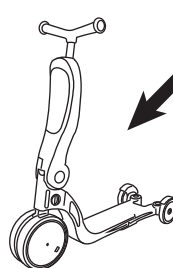
更に後輪を折りたたむ
後輪フレーム位置 1
後輪 1
前輪切替レバー ○印3つ
ペダルなし



スクーターⅡ

更に後輪を折りたたむ

後輪フレーム位置 1
後輪 1
前輪切替レバー ○印2つ
ペダルなし



スクーターⅠ

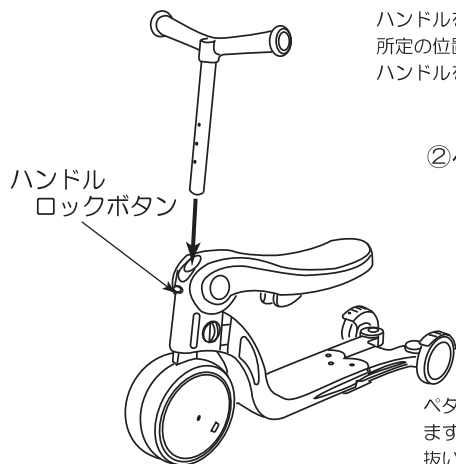
シートとハンドルを調整

後輪フレーム位置 1
後輪 2
前輪切替レバー ○印2つ
ペダルなし

4. 各部の変形・調整方法

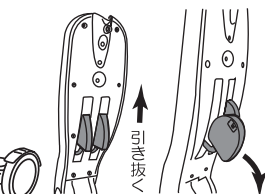
※スクーターとして使用する時はペダルは外してください。

①三輪車のハンドルの取付・取り外し

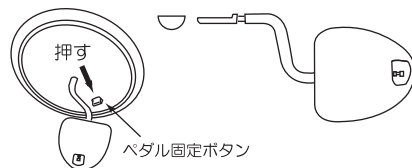


ハンドルを取り付ける時は本体フレームのハンドル取り付け位置にハンドルを差し込みます。所定の位置まで入ると、ハンドルロックボタンが飛び出し、カッチと音が鳴ります。ハンドルを外す時は、ハンドルロックボタンを押しながら、ハンドルを引き抜いてください。

②ペダルの取り付け方

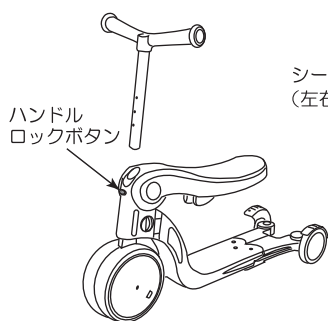


ペダルはシートの裏側に収納されています。矢印の方向にペダルの軸を引き抜いてから取り外してください。収納する時はペダルが収まっていた溝の穴にペダルの軸を差し込み、収納してください。



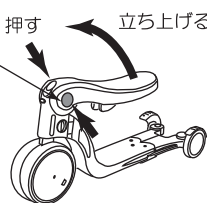
前輪のペダル固定ボタンを押しながら、中央のペダル差し込み穴にペダルの軸を差し込んでください。ペダルの軸の先端が半月形に加工しています。ペダルを差し込む穴の角度を確認しながら差し込んでください。外す時はペダル固定ボタンを取り付け時と同じ向きに押しながらペダルを引き抜いてください。

③スクーターの組立方法

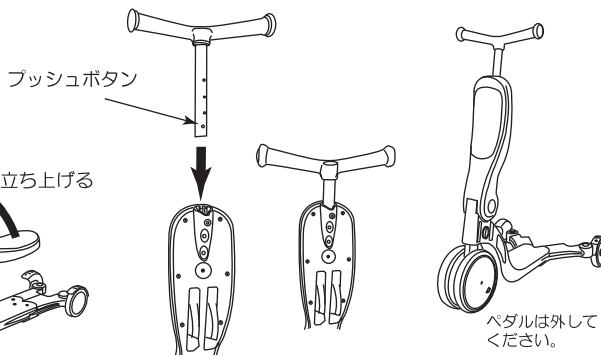


ハンドル調整ボタンを押しながらハンドルを引き抜いてください。

シート調整ボタン
(左右にあります)



左右のシート調整ボタンを同時に押しながらかしを立ち上げてください。シートを戻す時はシート調整ボタンを押しながらシートを倒してください。

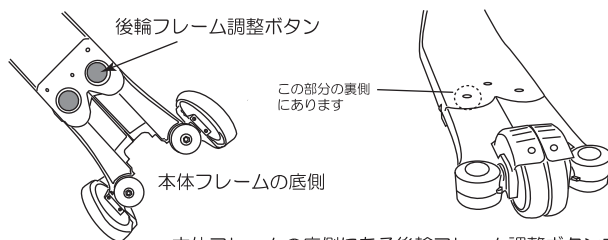


ハンドルを差込口に差し込み、カチッと音が鳴り固定されたことを確認してください。ハンドルの高さ調整はプッシュボタンを押しながらハンドルを上下に調整してください。3段階の調整が可能です。

スクーターの状態ではハンドルを外す時は、プッシュボタンを押しながらハンドルを引き抜いてください

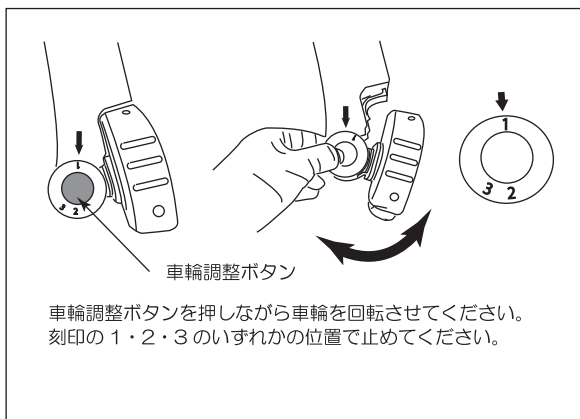
④後輪フレームの操作方法

※後輪フレームを調整する時は必ず車輪の向きも合わせて調整してください。

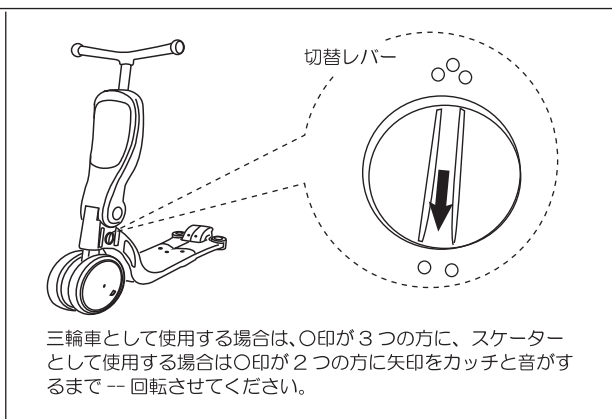


本体フレームの底側にある後輪フレーム調整ボタンを押しながら、後輪フレームを上げてください。上げると刻印の矢印が3の位置で止まります。左右とも上げてください。閉める時は同ボタンを押しながら閉じてください。1・2の位置で止まります。この時車輪は1か2の位置にしてください。(方法は⑤を参照してください)

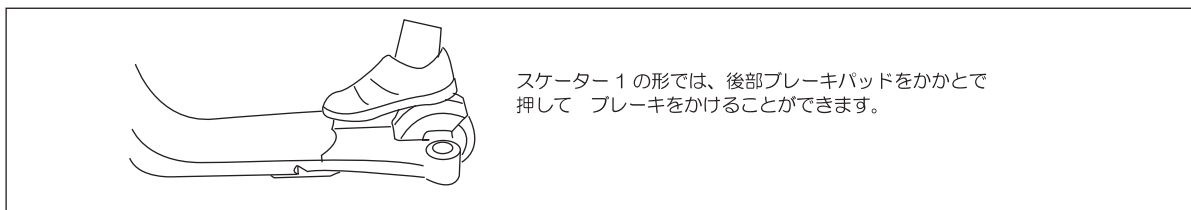
⑤後輪の操作方法



⑥前輪切り替えレバーの使用方法



⑦ブレーキパッドの使用方法



寿命を過ぎた商品を使用し続けると、思わぬ事故が発生する場合があります。

Free キッズスクーターは長期間の使用や環境により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで破損に至ることがあります。特に2人目のお子様、他人からの譲り受け等によるご使用は、寿命を超えている場合があります。寿命は使用状況や保管状態により異なりますが、新規購入時から使用対象月齢期間までが目安です。安全で安心な育児のために、寿命内であっても、日頃からのご注意と点検をお願い致します。下記の点を中心に全体をチェックしてください。

1. 本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか。
2. 締結部分にゆがみやガタが生じていないか。
3. 車輪やキャスター部分の回転が悪くなっていないか